

マタイ 13 : 31-33,44-46

「神の救いはあなたにとってどれほど価値がありますか」

13:31 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、からし種のようなものです。それを取って、畑に蒔くと、

13:32 どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。」

13:33 イエスは、また別のたとえを話された。「天の御国は、パン種のようなものです。女が、パン種を取って、三サトンの粉の中に入れてと、全体がふくらんで来ます。」

13:44 天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。

13:45 また、天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなものです。

13:46 すばらしい値うちの真珠を一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます。

## はじめに

マタイの福音書にある五大説教の 3 つめの説教に関する学びは今日で終わりです。

マタイの福音書に記された説教の締めくくりは、イエスの教えが完結したことを示すしるしでわかります。

マタイは自身の福音書をそのように構成しました。

マタイ 7 : 28 には、「イエスがこれらのことばを語り終えられると、…」という表現があります。この説教はマタイ 5 : 1 から始まりました。

そして、マタイ 11 : 1 には、「イエスはこのように十二弟子に注意を与え、それを終えられると、…」とあります。

マタイ 13 : 53 には、「これらのたとえを話し終えると、イエスは…」とあります。

このように見ていくと、13 章以降に始まる次の説教はマタイ 18 : 1-35 であることがわかります。

マタイ 19 : 1 に、「イエスはこの話を終えると、…」とあるからです。

聖餐式に与る日曜日に、これらの五大説教を学んできました。この学びを選んだ理由は、イエスによる大切な教えであるとマタイが考えていた内容を、私たちがはっきりと知るためです。

すでに学んだとおり、3 つめの説教はたとえによるイエスの教えです。

今日は 4 つのたとえから学びます。ひとつひとつは非常に短いので、それぞれの教えの要点はすぐわかります。

今日学ぶ 4 つのたとえは、からし種のたとえ、パン種のたとえ、隠された宝のたとえ、そして、すばらしい値打ちの真珠のたとえです。

### 1. からし種のたとえ (31-32 節)

まず、このたとえは引き続き、天の御国にかかわる話であることがわかります。

天の御国は人が畑にまいたからし種のようなだとあります。

そして、からし種はどんな種よりも小さいけれども、成木はどんな野菜よりも大きな木になって、空を飛ぶ鳥が来てその枝に巣を作るほどだとあります。

まず、皆さんに 3 つの写真をご覧いただきましょう。

ひとつめは、からし種がどれほど小さいかわかる写真です。

次に、からし種が背の高い草に成長した姿です。

3 枚目の写真は、古いからしの木です。

これほど小さいものがこんなに大きく育つというのは驚きです。

ここで私たちが考えなければならないのは、このたとえの要点です。

このたとえと、これより前に出たふたつのたとえのつながりに気づくことが大切です。前のふたつのたとえも種まきについてでした。

種をまく人のたとえでは、種は人の心の象徴でした。

人の心が神のみことばに従うときに、霊的成長が起こります。  
ふたつめのたとえば、麦と毒麦のたとえで、さばきについての警告でした。  
その中で、イエス・キリストと聖書の教えを拒む人々がさばかれる日がやってくると学びました。  
今日の個所には、驚くほど大きな木へと成長する種が登場します。  
このたとえばでは、種は聖霊の象徴です。聖霊は、罪を悔い改め、イエスにあわれみを求める人の心に植えられます。  
キリスト教会は小さな群れから始まりましたが、驚くほどの成長を遂げ、現代では世界中に21億8千万人のクリスチャンがいます。  
けれども、これは現代の人数です。キリスト教には2千年の歴史があり、その累計は膨大な人数になるでしょう。  
このたとえば、人が神を受け入れるときに心に働かれる神の力を表します。

### ヨハネ 1 : 6-13

1:6 神から遣わされたヨハネという人が現れた。  
1:7 この人はあかしのために来た。光についてあかしするためであり、すべての人が彼によって信じるためである。  
1:8 彼は光ではなかった。ただ光についてあかしするために来たのである。  
1:9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。  
1:10 この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。  
1:11 この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。  
1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。  
1:13 この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。

今日皆さんにお尋ねします。  
あなたは、信仰によってイエス・キリストを心に受け入れたいですか。  
もしそうなら、今がそのときです。聖書は、「今は救いの日です」と語ります。（コリント第二 6 : 2）  
神がすでに心の中で働きを始めておられるなら、ご自身が始められた働きを神が継続してくださると確信できます。

### ピリピ 1 : 3-6

1:3 私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、  
1:4 あなたがたすべてのために祈るごとに、いつも喜びをもって祈り、  
1:5 あなたがたが、最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています。  
1:6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

## **2. パン種のたとえ (33 節)**

「パン種」はイーストと同じです。  
イーストは、糖分を消費する菌で、いろんな用途に用いられます。  
今日のメッセージの場合、パン作りに使われます。  
イーストは、生地を膨らませます。こうして、私たちはパンを作ります。  
このたとえも、成長が要点です。  
けれども、このたとえにはふたつ注目すべき点があります。  
まず、パン種は生地と混ぜることで初めて膨らみます。

そして、自動的に膨らみます。膨らむ過程はゆっくりで見た目にそう見えなくても、発酵は進みます。

神の御国も同じです。

私たちの立場から成長が見えなくても、常に大きくなっています。

次に、神の御国は作用をもたらします。イーストの作用が生地全体に及ばなくてはなりません。

言い換えると、イエスに似た者へと成長するためには、神の聖霊が私たちの人生全体に作用してはならない、ということです。

神は、私たちの心を一新するために心を変えてくださいます。

神の聖霊は常に働いておられますから、私たちは、心に働いてくださる聖霊に協力する必要があります。

天国に行くまで完璧にはなりません、私たちが聖霊に協力するなら、神は私たちを完成させることができになります。

聖化の過程は常に進行形です。

### 3. 隠された宝とすばらしい値打ちの真珠のたとえ (44-46 節)

このふたつのたとえは、どちらも同じ意味なので、まとめて学びましょう。

ひとつめは、畑で隠された宝を見つけた人の話です。その人は、その畑を買うために、すべてを売り払います。

この人が宝探しをしていたとは書かれていませんから、もしかすると偶然に宝を見つけたのかもしれない。

次のたとえでは、商人が実際に良い真珠を探していて、高価な真珠を見つけたとあります。

その人も、その真珠を手に入れるために持ち物をすべて売り払いました。

このふたつのたとえには共通点があります。

どちらも、登場人物にとってそれを手に入れるためにすべてを手放してもよいと思うほど非常に価値のあるものを見つけました。

ふたつのたとえの意味は同じですが、話は少し違うところがあります。

ではまず、隠された宝のたとえから見ていきましょう。

当時、銀や宝石などの宝物を壺の中に隠すのは一般的でした。

敵の侵略などがあるので、貴重品を隠す一番安全な方法は、地中に埋めることでした。

敵が去った後に、その場所に戻って宝を掘り返せるからです。

けれども、戻って宝を掘り返さない人もいました。戦いで殺されたか、何らかの事情で戻れないのでしょ。

というわけで、当時の人々には意味深いお話でした。

おそらく日雇い労働者であろう人が、その日の仕事をするために畑に行き、偶然宝を見つけます。

彼は大喜びで持ち物をすべて売り、その畑を買います。宝を自分のものにするためです。

イエスは、天の御国はこのようだとおっしゃいます。

天の御国は、とても尊く、喜びに満ちているので、そこに行くためなら持ち物すべてを手放しても惜しくはありません。

#### ピリピ 3 : 8-11

3:8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損とと思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくとと思っています。それは、私には、キリストを得、また、

3:9 キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。

3:10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、

3:11 どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。

パウロは、救いほど尊いものはないと確信していました。  
そして、ローマ人への手紙の 11 章までで福音について説明した上で、次のように記しました。

#### ローマ 12 : 1-2

**12:1** そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。

**12:2** この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

私たちのからだをささげることが神への礼拝だと、パウロは言います。

次のたとえば、美しい真珠を探す商人の話です。

商人は、とても値打ちのある真珠を見つけ、それを手に入れるためにすべてを売りました。このたとえば、隠された宝と同じ意味ですが、商人は真珠を売買する上で、さらに良い真珠を探していたことがわかります。

商人は、今手元にある真珠では満足できず、もっと良いものを求めていました。

これは、現代人の姿につながります。

多くの物を持っていても、それらの物は心を満たしてくれません。よりよい人生を求めているという自覚はなくても、実のところ霊的に満たされていないのです。

真理や生きる意味を探し求めている人がイエスに出会うと、完全に満たされて、心を尽くして犠牲を払ってイエスにお仕えしようと思うようになります。

私たちがそれぞれ今問うべきことは、イエスにもう出会ったかです。

このお方こそ、「すばらしい値うちの真珠」です。

イエスの救いは、何を手放しても惜しくないほど、尊いものです。他のものはすべてこの世のはかないものですが、救いは永遠だからです。

イエスに人生を明け渡そうと思わないなら、まだイエスに本当に出会っていないのかもしれないかもしれません。

南米で殉教した有名な宣教師ジム・エリオットは、言いました。

「失うことのできないものを得るために、持ち続けられないものを手放す人は、決して愚かではない。」

ジム・エリオットはアマゾンのジャングルの奥地に住む部族に福音を届けようとして命を落としました。

けれども、神は彼の妻を用いてその部族に福音を届け、多くの人たちがクリスチャンになりました。

ジム・エリオットは命を失いましたが、天国を得ました。

では、天の御国に入る条件とは何でしょう。

神の御国に入るために、私たちは何をしなければならないでしょう。

1. 自分は生まれつき罪深い心を持っていることを認めましょう。私たち人間はもともと、聖書の神の友として造られました。けれどもその友情は、不従順によって壊れました。

#### ローマ 3 : 23

**3:23** すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、

2. 罪の罰は死であるという聖書の教えを理解しましょう。私たちは皆いつか死ぬという事実に向き合わなくてはなりません。

ローマ 5 : 12

5:12 そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。

ローマ 6 : 23

6:23 罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

3. 神が御子イエス・キリストをこの世に送ってくださったと信じましょう。イエスが来られたのは、私たちの罪の罰を負うためです。私たちが神と和解して、神のもとに戻れるようになるためです。

ヨハネ 3 : 16

3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

コリント第二 5 : 21

5:21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方であって、神の義となるためです。

4. 罪の赦しをイエスに求め、イエスを救い主であり人生の主として受け入れましょう。そして、イエスの導かれるところどこにでもついていきます、と約束しましょう。

ヨハネ 1 : 12

1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

5. そのようにしたなら、誰かにそのことを伝えましょう。

ローマ 10 : 9

10:9 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。